

平成29年度中小企業振興円卓会議 専門部会事業計画書

【代表団体名称】	公益社団法人 松山法人会
活動テーマ	ええ会社づくり・ええ人育て・ええお客づくり
活動名	就職幸福都市まつやま発信事業(仮)
活動趣旨(本市の中小企業の現状、課題等)	<p>県内の有効求人倍率は依然として高い値で推移し、中小零細企業は経営リスクとして労働力不足を認識している。また、雇用形態は多様化、流動化し、更には、ワークライフバランスという言葉の浸透により、学生の就職観(*1)の3割で「個人の生活と仕事を両立させたい」が占めており、人材を確保したい企業は、更なるダイバーシティマネジメントを求められるようになってきている。</p> <p>県内学生17,403名(H27.5)、その約8割を占める愛媛大学、松山大学の卒業後(H27.3卒業)の進路を見てみると、愛媛大学で約5割、松山大学で約4割の学生が県外に就職している。(：愛媛大学：学部別にみると、理学部、工学部で約7割、農学部で約6割が県外就職となっている)更に全国学生の就職における大企業志向調査(*1)を見てみると、景況観などの好転により就職率が上昇したことで比較的強気な就職活動を開始した学生が多く大企業志向が高推移しており、更なる市外流出が拡大していると予想される。</p> <p>県内の雇用市場に大きな影響を持つ県内大学生の意識調査(*2)を見てみると、「やりたいことがあれば中小企業」もしくは、「規模にこだわらない」と回答したのが約8割となっている。また、将来を決めた時期についても、「大学入学前」が3割にとどまり、5割以上が在学中に進路を決定している。以上のことから、学生(の就職観)は、進路決定において「企業規模」に関しては重きを置いていない(中小零細企業への就職に抵抗感は少ない)にも関わらず、優良中小零細企業を多く持つはずの松山市では人材を市内に留めることができていない現状が考えられる。</p> <p>また、えひめ男女共同参画推進大学等連絡協議会(県内8大学で結成)では、市外流出が起きている原因の一つとして、従来の説明会では、大企業のみを対象としたものや学生を学部や専攻、資格により集团的に捉えず、限られた企業ラインナップになっているなど、在学中(進路決定時)に市内優良中小零細企業を認知する機会が限られ、働き方を描き辛い現状を掴んでいる。</p> <p>(*1)株式会社マイナビ H27.4 (*2)えひめ地域政策研究センター H23.3</p>
活動の項目	<p>条例の推進活動 条例第4条(基本方針) (3)「人材の確保、育成、定着」 (9)「関係機関との連携」 に該当</p> <p>調査・検証活動</p>
活動内容(条例の推進活動、本市の実態や効果的な施策に関する調査・検証等)	<p>えひめ男女共同参画推進大学等協議会等と協働し、学生の職業観を満たす「働きやすい職場づくり」を進める多数の優良企業情報を学生に提供し(働き方勉強会3回)、学生に市内企業の存在と、松山市が働く、生活する上で「就職幸福市」であることを認知してもらうことにより、学生のライフプランの早期創造と学生の市外流出を食い止めることを目的とする。</p> <p>【働き方勉強会の特徴】 えひめ男女共同参画推進大学等協議会等と協働し、学生の職業観を掴みながら、ある一定の基準を満たした「働きやすい職場づくり」を進める優良企業(ワークライフバランス優良企業)のみが参加できる働き方勉強会である。</p> <p>【ワークライフバランス優良企業の選定方法】 えひめ子育て応援企業、えひめ子育て応援ゴールド企業、くるみん、プラチナくるみん認定企業、えるほし認定企業、女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画の策定企業、愛媛県の女性活躍推進に係る自主目標設定状況シート提出企業、愛媛県「ひめボス宣言」事業所、松山市「イクボス」企業、(公財)松山市男女共同参画推進財団「まどんな応援企業宣言」提出企業等の両立支援に取り組む企業の中から一定の基準を満たした企業を選定。</p> <p>【ワークライフバランス優良企業の選定基準(一定の基準とは)】 制度を整えていても、利用実績や利用風土のない企業を選定しては、学生の就業後のワークライフバランスの実現に大きな影響を与える。下記の選定基準(案)を定め、専門家によるヒアリング実態調査も行う。 ①就業規則が育児介護休業法に則していること。 ②育児休業制度、子の看護休業、出産前後休暇制度、短時間勤務制度・所定外労働の免除制度、時間外労働の制限制度・深夜業の制限制度、柔軟な労働時間制度、職場復帰支援制度、介護離職ゼロに向けた取組等に法の規定を上回る取組、制度整備を行っていること。 ③労働者への周知方法を持ち、周知し続けている実績があること。 ④男女の育児休業取得等の利用実績があること。 ①～④を点数化し、高得点企業の中から参加企業を選定する。</p> <p>【参加者の範囲】 学生のライフプランの早期創造と学生の市外流出を食い止めることを目的とすること、ワークライフバランス優良企業＝男女働きやすい企業であることから、性別、学年(メインターゲットは大学1、2年生、短大専門1年生)を定めず参加できるものとする。</p> <p>【その他】 ①学生の参加しやすい環境(日にち設定、会場などの工夫)づくり。 ・えひめ男女共同参画推進大学等協議会との連携 ②活発に情報交換できる環境づくり。 ・企業5社程度・学生30名程度／1回 ・企業からは、経営者だけではなく育児休業取得経験者等のロールモデルにも参加していただく。 ・グループワーク形式にし、学生の就業観、企業の思いをより引出し、交流させるためにMMCカード(まつやまメンバーカード)(MyVision、Work Styles Reform分野)等コミュニケーションツールの有効利用を検討する。</p> <p>【調査・研究】 学生の就業観を把握し、企業の抱える採用プロモーションの課題を発掘・支援することで、学生に市内に優良企業が存在することを周知し、松山市は、働く・生活する上で「就職幸福都市」であることを認知してもらい学生のライフプランの早期創造と学生の市外流出を食い止める。</p>
構成メンバー(予定)	えひめ男女共同参画推進大学等連絡協議会、えひめ女性活躍推進協議会、松山商工会議所、松山法人会、愛媛県法人会連合会(女性が働きやす企業風土づくり事業)
事業期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日
【事業に要する経費】	1,474,498円
備考	